バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No. 82

SABS Journal No. 82

ezine ezine

発行日 2016年5月24日(金)

URL http://www.sabsnpo.org

このジャーナルはもともと協会内部向けのものでしたが、数年前から、少しでもバイオテクノロジーに、ご関心のあり そうな方々に向けても配信を始めております。ご興味の無い方は配信不要の旨、そのまま、返信してお知らせください。

1) 昨日・今日・明日

ついに奥山先生のご逝去からほぼ1年となりつつあります。筆者(檜山)が突如理事長をお引き受けすることとなり、早や1年近くになります。これまで、この項では、先生が様々な分野にわたり、次から次へと溢れる蘊蓄を毎回披露されて居られました。奥山先生亡きあと出来るだけ先生のご遺志を継ぎバイオテクノロジー標準化支援協会(SABS)を続け発展させて行こうと定例会では会員の方々が毎回次々とそれぞれの方々がご専門の蘊蓄を傾けることで少しでも先生のご遺志を継ぎ会員各位の親睦と勉強の一助となるよう努めてまいりました。

前回は前々回の小林さんの紙の話に触発され、檜山が「紙など」という題で「紙」を中心にお話しました。奥山先生も大変関心を持って居られた話題で大量出版の記録媒体としての紙は現在に至るまで大量生産が可能な媒体として非常に重要な役目を担ってきました。生化学屋で定年までやってきた筆者ですが、実は卒業研究(60年近く前の話!)では木材化学をやっていました。などと豪語し勉強を始めて分かったのはそんな筆者の話の学部時代と技術的にはあまり変わっていないということでした。原料が木材でなくチップになったり古紙が非常に増えたこと位です。

と、ここまで書いてきて突如私個人に異変が起こりました。毛虫に挿されてその晩発熱と全身に紅班が広がり、遂に先週火曜に外来から即入院となってしまいました。奥山先生が昨年の丁度今頃入院されたのが思い出され先生より一回りも若い筆者も愕然としたのですが、1週間後の今日あたりは熱も発しんもかなり収まり病室のNetPC環境も整ったのでこの原稿を書いている次第です。ここまではSABSReportがこんなに遅れた言いわけです。さて私の全身発しんは毛虫ではなく何か他の原因ではないかとこの1週間皮膚科だけでなく、心臓、肺、肝臓、腎、はては消化器など東大病院の若手先生が総動員され検討されつつあるようです。研究材料にされた感もあり、採血だけでも数十回、CTも既に2回、毎日検査につぐ検査で過ごしてきました。まあ快方に向かっていることもあり、これ以上クドクド言いわけすると今テレビを賑わせている政治家の釈明みたいなので、筆者のことはこれ位にしましょう。

次回は2月の定例会でハイドロキシアパタイトの話しをして下さった若手バリバリの現役 HOYATechnosurgical の小林伸太郎さんに、前回は時間が無くなってしまって「いずれまた」となっていたお話「抗体医薬」をお願い致しました。この仕事についても奥山先生が最後までご指導されていたようです。

** ** **

2) 第74回定例会のおしらせ。

バイオテクノロジー標準化支援協会 第74回 定例会

日時: 2016年5月27日(金)14時00分-16時00分

参加費:無料

* (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)

友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所:八雲クラブ(首都大学東京同窓会)

道順: 渋谷駅から井の頭通りの坂を東急ハンズ目指して上り、ハンズ建物を過ぎ交差点角を右に回って直ぐまた右に曲がるとハンズ裏搬入口になります。その隣の建物がニュー渋谷コーポラスです。入口奥のエレベーターで10階に上がり直ぐ右隣です(添付地図参照、赤丸印)。



話題

*1 演題:「抗体医薬」

演者: HOYA Technosurgical 株式会社 小林伸太郎 氏

- 抗体医薬の歴史
- 抗体医薬の製造方法
- 次世代の抗体医薬
- ・抗体医薬の問題点 凝集体、不純物
- ・アパタイトによる抗体の精製と利点、異性体の分離

ぜひ皆様のご参加をお待ちして居ります。

この会では会員でも会員でなくてもご自由に出席、発言して頂くことになっています。 ぜひ友人同士誘い合わせてご出席ください。

また出席されない方でもメールでご意見をお寄せください。お待ちして居ります。またぜひ「昨日・今日・明日」にもご投稿ください。内容・字数は自由です。また話題提供も大歓迎です。時間は2時間程度ですが短くても長くても(この場合は2回以上に分けますが)また内容も自由です。ぜひ皆さまのご参加を歓迎します。

** ** **

3) ホームページに e-library のリストがあります。会員の方はその中から 希望のものをご指摘ください。

バイオテクノロジー標準化支援協会からジャーナルをお届けします。

- ① 配信停止・中止希望; 返信にしてその旨お知らせください。
- ② 配信先等、登録情報変更希望; 返信にしてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録を希望;返信にして、その旨記載してください。 または入会希望書に 必要事項を記載の上 FAX 送信ください。詳細確認希望の場合はその旨記載下さい。こちらよりご連絡差し上げます。
- ④ ウエブサイトに関するご意見;返信にして、ご意見を記載ください。